



ゆ〜かい〜ぶす 24号

兵庫高等学校第3学年

梅雨明けも間近。いよいよ暑い夏がやってくる。67回生のみんなにとって高校最後の、そして、おそらく人生で初めて一つのことに集中する夏になることだろう。

3年生になって“最後の”と名の付く行事を、それぞれの立場でいろいろな思いを持ちながらも真剣に取り組んでいる姿に、みんなの底力を見せつけられたように思う。

後悔の残らない夏休みを過ごし、9月1日、引き締まった顔つきになったみんなの姿を見たいと願っている。

合唱コンクール

耳について離れない「秋じゃ秋じゃとうとうなり」の歌詞。名曲にして難曲の『秋のピエロ』。どのように仕上げてくのかと期待していたが、どのクラスもさすが3年生、大人の歌声で聴く者を魅了した。課題曲も本格的な合唱曲ばかりで、意識・意欲の高さをうかがわせた。

《予選》			《決勝》	
1位	2組	〈ひとつの朝〉		1位
2位	7組	〈花を探す少女〉		
3位	6組	〈僕が守る〉		
4位	3組	〈一詩人の最後の歌〉		3位

全員で“秋じゃ秋じゃ〜”



『BUSAIKU』



1組 S. Y.

私は一文でしたが、塾の先生に「もう音コンは適当でいいから勉強しろ」と言われたのにびびって初めの頃練習・指導に力を入れていませんでした。とてつもなく後悔しています。1組は練習の集合率が一番だったと自負しています。部活が始まるギリギリまで参加してくれたり、たくさんの人が各々の分野で出来ることを手伝ってくれて、クラスの人達のことをより知る良いきっかけになったと思います。

1組の皆長い間練習お疲れ様でした！

肩の力抜いて笑顔で

2組 Y. T.

今から1か月ほど前に僕が2曲とも指揮をすると決まったとき、内心とてもワクワクしていました。やる気と活力に満ちた3年2組なら優勝を狙えるという確信があったからです。

今になって振り返るとうまい指揮もアドバイスもできず弱気な発言ばかりでクラスには多大な迷惑をかけましたが、そのたびにみんなが声をかけあって支えあってくれて、僕はほんとに助けられました。やはり2組はやる気と活力に満ちたクラスです。

そして優勝が決まったときのみんなの笑顔と歓声は筆舌に尽くしがたいものでした。前で全体指揮をしたときは僕はニヤニヤしてたらしいですが、もうそれだけ幸せだったということです。

最後の音コンで最強の団結力を誇る2組で優勝という最高の結果で終えられたのはクラスのみんなのおかげです！ほんまありがとう！！そしてこの音コンを盛り上げてくれた人や運営してくれた人にも感謝感謝です！

とにかく楽しかった！！ありがとう！！



クラスのみんなに感謝

3組 Y. S.



自由曲が決まり、始まった3組の合唱練習。課題曲は以前に聞き覚えがあるからか、歌い慣れるのが早かったが、自由曲はレベルが高く、歌えるようになるまで時間がかかった。

日が経つにつれてだんだん自由曲も歌えるようになってきて、歌っていて楽しいと感じるようになってきた。

私たち3組は人数も少ない上、予選当日は部活の試合で来られないメンバーが多くさらに人数が減り、またトップバッターということで不利な点も多かった。しかし、

見事本戦に出場し、さらに入賞することもできた。

指揮者、伴奏者、クラス紹介で活躍してくれた人(笑)をはじめ、3組みんなに感謝したい。楽しい合唱コンクールをありがとう。

次に活かせ！

4組 K. N.

3度目の合唱コンクールにして初めて指揮者を務めることになり、終始不安でした。

不安要素として、伴奏の立候補がなく自由曲もアカペラをすることになって、時間がないなか上手く持っているのかなど、なかなか一筋縄ではいきませんでした。

結果は予選落ちでしたが、忙しいなかでも出来る限りの練習を各々ができてくれたことで、4組らしい合唱が出来たと思います。

クラス全体のエンジンがかかるのに時間がかかった、という反省点を“それいけ！”に活かし、次こそは優勝を勝ち取りたいと思います！



大変だったけれど…

5組 A. I.

私たちのクラスには、吹奏楽部部員がいません。練習を始めたころ、弦楽部部員は定期演奏会のため忙しそうでした。なので誰に音楽的なことを相談すればいいのかわからず、本番が遠いからかクラスもまとまらず、一人で悩んでいました。

しかし、本番が近づくにつれて、アドバイスをくれたり、皆や私に声をかけてくれる人たちが増え、そのおかげで、負担よりも楽しさを感じるこのほうが多くなりました。

こうして本番を終えてみると、悩んだ時期も含め、指揮者をやって良かったと思います。みんなありがとう！



合唱コンクールを終えて

6組 N. K.



6組はとても団結力のあるクラスだと、この合唱コンクールを通して思いました。練習のときも、一文の私が終わらせようとしても「まだやろう」と言って練習を続けることが多々あり、やる気は他のどのクラスにも負けていなかったと思います。

予選では多少クラス紹介のおかげかもしれませんが、みんなで力を合わせ決勝に残ることができ、すごく嬉しかったです。

この調子でこれからの体育祭も、6組らしき全開でやっていければいいなと思います！

3年目の合唱コンクール

7組 S. H.

高校生最後の合唱コンクールが終わりました。今年選んだ自由曲は去年や一昨年と違ってとても難しいものでした。同じメンバーで歌うのは3年目だったので、まあなんとかやる。と思っていましたが、実際は本番に間に合うかとても心配でした。でも、みんな受験に向けて忙しいなかで、放課後や朝に時間を作ってくれて、決勝に進むことができました。

残念ながら入賞することはできませんでしたが、個人的にはとてもいい経験になったと思っています。みなさん、おつかれさまでした！



人権ホームルーム 5/22

感想の紹介 第2弾

裁判長のお弁当

F. T.

この作品を鑑賞して一番心に残ったのは、裁判官という仕事のハードさについてです。朝から晩まで、お弁当を毎日2つ持って、分刻みの裁判スケジュールをこなす姿は、最近

問題になっている「ブラック企業」と似たようなものではないかと衝撃を受けました。しかもそんな厳しい時間との戦いの中、こなさなければならない仕事は人の人生を左右する非常に重い責任を伴うものであり、我が国の司法制度に強い問題意識を感じました。

また、我が国の裁判の判決における有罪率は99.9%で、判決を下すときも被告人の無罪は全く考慮に入れず、検察側がいかにも有罪を証明できるかということに焦点を当ててい

るといふことにも驚きました。裁判官の多忙さが、幾つもの哀しい冤罪事件を引き起こす原因にもなっているという事実に、やりきれない思いを抱きました。

最後に裁判官が判決を下した後、自殺を考えていた被告人に語りかけたというその内容が放送されました。忙殺される日々の中でも、どうすれば被告人が人として正しい道を歩めるのかということに真摯に向き合う姿に胸が熱くなりました。

今のところ裁判官という進路はあまり考えていませんが、法に守られている日本国民として、機会があれば裁判を傍聴してみたいと思います。

まっすぐに智華子、夢へ

N. Y.

DVD を見終わってまず感じたことは、智華子さんの人生は“幸せ”そのものということ。目が見える見えないの幸、不幸せという意味ではありません。私が智華子さんをうらやましいと思ったのは、智華子さんが何があっても折れない、強い諦めない心を持っているからです。トライアスロンでビリだったことをすごく悔しく感じたり、その負けず嫌いな性格を水泳にぶついたり、本当にかっこいいなと思いました。

学校に一人で行くことも、初めは恐怖の塊でしかないはずなのに、涙ぐみながらも自分の記憶を信じて学校に着きました。私だったらきっと大声を出して周りを歩いている人に頼ってしまうと思います。一度水泳を離れ、戻るときにまた夢に向かって練習を再開できたのも、幼い頃の訓練のおかげだと感じました。そして、その訓練を積み重ねさせてくれたお母さんがいるということが、智華子さんの幸せの原点だと思います。普通の人以上に感動したり、夢をもって努力したりできる智華子さんの幸せは、もちろん自分で手に入れたものですが、きっかけを与えてくれたお母さんは、とても素敵の人だと思いました。

私は何かに取り組む時、今回の智華子さんの諦めない心を思い出そうと思います。テストや受験勉強など身近なことにも意識しようと思います。また、子どもが生まれた時は、子どもに何にでも挑戦させてあげたいです。夢を持つきっかけづくりがその時にできたらいいなと思います。

◆◆◆2学期当初の予定◆◆◆

9/1(月)	始業式 実力考査	8:30 ~ 11:20 ~ 12:20		
			文 化学+ 物・生	理 地理
		13:05 ~ 14:05	地歴 公民 A	物・生
		14:20 ~ 15:20	地歴 公民 B	化学
9/2(火)	実力考査	8:30 ~ 10:10 10:25 ~ 12:05 12:50 ~ 14:30 12:50 ~ 14:50	国語 英語 数学	国語 英語 数学

9/3(水)~	平常授業			
9/7(日)	全国記述模試	於	神戸大学	
9/13(土)	土曜教室			
9/19(金)	体育祭予行			
9/25(木)	体育祭			
9/27(土)	土曜教室			
10/3(金)	校外学習			
10/11(土)	土曜教室			
10/17(金)	全国記述模試	於	本校	
10/18(土)	全国記述模試			
10/20(月)~24(金)	中間考査			
10/29(水)	定期戦			

季節の言葉

大暑 たいしょ 7月23日
最も暑い真夏のころのこと。

処暑 しょしょ 8月23日
ようやく暑さが収まり始めるころ

二百十日 にひゃくとおか 9月1日
立春から数えて二百十日目。台風がやってくる日とされています。
八朔や二百二十日とともに、嵐の来る農家の三大厄日。稲の収穫の頃に台風が来ては大変と、暦は注意を呼びかけます。富山のおわら風の盆など、作物の無事を祈る風鎮めの祭りが行われます。